

社会貢献活動

当社およびグループ各社は、金融グループとしての高い公共性を認識し、本業を通じて社会全体の持続的な発展へ貢献することが重要と考えます。また、従業員一人ひとりの社会参加を導くため、企業としての社会貢献活動に取り組んでまいります。

地域・国際社会

●三井住友銀行ボランティア基金

三井住友銀行では、有志役職員の給与から毎月100円から1,000円を天引きする積立募金に、約1万1千名が加入しています(平成27年3月現在)。寄付先は、従業員や専門機関から推薦された団体を、有識者と従業員で構成する審査会において審議し、決定しています。平成26年度は、国内外で社会課題等の解決に取り組む31団体への寄付を実施しました。

<国内>

児童虐待防止に向けた啓蒙活動、子育て支援活動、生活困窮者への食糧支援、障がいのある方の自立支援、等を行う団体

<海外>

インドネシアやマレーシアにおける植林活動支援、東ティモールにおける学校保健支援、ザンビアにおける農村自立支援、等を行う団体

また、グループ会社のさくらケーシーエスでも、役職員の約8割以上に当たる943名がボランティア基金に加入し(平成27年5月1日現在)、福祉や環境活動への寄付活動を行っています。

●役職員参加型ボランティア

三井住友銀行では、ボランティア基金の寄付先を中心に、社会課題の解決に取り組む団体と連携した役職員ボランティア活動を実施しました。平成26年度は、当社グループ各社の役職員とその家族に参加者を広げ、延べ441名が参加しました。



東日本大震災復興支援活動

●東日本大震災支援募金

三井住友銀行では、「東日本大震災支援募金」として、被災地支援に限定して活用される毎月400円の給与天引き募金を行っています。平成26年度は、有志役職員によるボランティア活動において連携した、地域のNPO法人に対し、本支援募金と同行マッチングギフトを併せた寄付を行いました。

●被災地支援ボランティアの実施

三井住友銀行では平成23年5月より、宮城県の石巻市や亘理町、東松島市を中心に役職員による被災地支援ボランティアを定期的に行っています。これまで、延べ700名を超える役職員とその家族が参加しました。SMBCフレンド証券では、平成25年7月から「復興支援ボランティア」を実施しています。宮城県石巻市にて、被災地の方々との交流を深めながら活動を行っています。



●被災地支援 楽器寄贈

三井住友カードでは、これまでに、宮城県気仙沼市で活動する小中学生によるジャズオーケストラ「スウィングドルフィンズ」に、社内クラブで使用していた楽器15台を寄贈しました。

●都内避難者との交流ボランティアの開催

三井住友銀行では、ボランティアスタッフYUIのメンバーが、都内に避難されている被災者の方々との交流会を定期的に開催しています。

●被災地支援 書籍寄贈

三井住友カードでは、被災3県(岩手・宮城・福島)の移動図書館を運営する公益社団法人シャンティ国際ボランティア会に、1,342冊の書籍を寄贈しました。

●福島県産品社内販売会の実施

セディナでは、東日本大震災による被害を受けた福島県の生産者・事業者の支援を目的に、福島県産品の社内販売会を東京本社などで開催しました。

2日間で約800名の社員が福島県産のお菓子やお酒などの購入を通じて復興支援に協力しました。



福祉活動

●書き損じはがきほか、収集ボランティアの実施

当社では、グループ各社の社員から「書き損じはがき」を募集し、ボランティア団体に寄贈しています。また、三井住友ファイナンス&リース・SMBC日興証券・SMBCフレンド証券・セディナ・SMBCコンシューマーファイナンスでは「ペットボトルのキャップ」、SMBC日興証券・SMBCフレンド証券・三井住友カード・セディナ・日本総合研究所・SMBCコンシューマーファイナンスでは「使用済み切手」を社内で収集し、寄贈しています。また、三井住友銀行・SMBCフレンド証券では、株主優待品の寄贈も行っています。

●団体献血の開催

三井住友銀行・三井住友ファイナンス&リース・三井住友カード・SMBCコンシューマーファイナンス・SMBC日興証券・セディナでは、職場での団体献血を実施しています。平成26年度は、7社合計で1,634名が参加しました。

●寄付型自動販売機の設置、福祉団体の製品販売実施

三井住友銀行・三井住友ファイナンス&リース・SMBC日興証券・SMBCフレンド証券・三井住友カードでは、飲料を購入すると寄付が行われる仕組みの自動販売機も設置しています。SMBCコンシューマーファイナンスでは、日本聴導犬協会へ寄付が行われる仕組みの自動販売機を、本社およびセンターにも設置しています。また、障がい者就労施設の製品販売も継続的に行っています。

●大規模災害発生時の義援金口座の開設、寄付等

三井住友銀行は、国内外の大規模災害発生時に、振込手数料無料の口座を開設してお客さまの募金を受け付けるとともに、行内、グループ各社役職員にも呼びかけています。平成26年度は、中国雲南地震や国内外の台風大雨災害、エボラ出血熱等の口座開設に対応するとともに、東日本大震災の義援金も継続的に受け付けています。また、中国雲南地震の被害では寄付を行いました。みなと銀行では、阪神淡路大震災から20年の節目にあたり、地震等の災害時に活用される防災用品(『防災かまどベンチ』等)を兵庫県および神戸市に寄贈しました。その他、平成26年10月、みなと銀行が冠協賛した『INAC 神戸レオネッサ』の公式戦において、選手と行員が協力して募金活動を行い、豪雨被害を受けた丹波市へ義援金の寄贈を行いました。

●SMFGプロボノプロジェクト

社会人がビジネススキルや職務経験を活かしてボランティアを行う「プロボノ活動」に「SMFGプロボノプロジェクト」として取り組んでいます。平成26年度は、SMFG有志従業員による3つのプロボノチームが、寄付金などの管理に必要な事務フローやデータベースの整備など、NPOの業務基盤を強化するためのアドバイスを行いました。東京で

は「子育て支援」「不妊治療」に取り組むNPOとの連携、大阪では「子育て支援」に取り組むNPOとの連携を行いました。

●ボランティアスタッフYUIの活動

三井住友銀行では、従業員の社内ボランティア組織「YUI」の支援を行っています。ろう学校での交流会や海岸清掃、地域の高齢者施設への定期訪問などを継続的に行っています。

●全国拠点における地域への貢献

三井住友銀行では、全国の営業拠点による地域貢献活動を推進しており、銀行見学会や支店周辺などの清掃活動、地域のイベントへの参加などを行っています。SMBC日興証券でも、地域の清掃活動やボランティア活動に積極的に参加している他、全国の拠点で金融経済教育も行っています。SMBCコンシューマーファイナンスは、地域のコミュニケーション拠点として展開しているお客様サービスプラザにて、地域の方々や学生に向けたお金に関する啓発・情報提供や、金融経済教育活動などを行っています。

●外国コイン募金活動

三井住友銀行は、ユニセフ外国コイン募金実行委員会のメンバー企業として、同募金活動の運営に協力しています。集まった募金は各国通貨別に仕分け、ユニセフに送っています。

●エコ軍手

みなと銀行では、平成26年4月の制服リニューアル後、旧制服の一部をエコ軍手として再生しました。平成26年6月、地域の環境保護活動等にお役立ていただくため、「公益社団法人 兵庫県園芸・公園協会」並びに「神戸市環境局」等に寄贈した他、各営業店の防災用として備え置きました。

●商品・サービスを通じた寄付支援

三井住友銀行では、普通預金の税引後利息を寄付する「ユニセフ愛の口座」の取り扱いと合わせ、マッチングギフト(お客さまと同額の寄付)を行っています。三井住友カードは、ワールドプレゼントの景品を通じ、VJAグループ各社カード会員から寄せられた寄付金をユニセフ、ユネスコ、WWFジャパン、WFPに寄付し、あわせて同社からもユニセフへの寄付を実施しました。また、クレジットカードを通じた寄付支援として、各種社会貢献型カードを発行し、利用額の一部を寄付・還元しています。セディナでは、「子どもたちの夢を形にする」をコンセプトに「アトムカード」等の社会貢献型カードを発行し、利用金額の一部を児童養護施設等に寄付しています。またポイント交換を通じた寄付やインターネット募金の受付も行っています。関西アーバン銀行は、環境関連預金の残高に応じ、毎年環境保全団体へ寄付を実施しており、平成15年度からの累計金額は5千万円を超えました。

● TABLE FOR TWOへの参加

三井住友銀行では、社員食堂でヘルシーメニュー1食を購入すると開発途上国の学校給食1食分がNPO法人「TABLE FOR TWO International」に寄付される取り組みを本店および全国の支店で行っており、三井住友ファイナンス&リース・三井住友カードにおいても本社等で実施しています。

● 財団を通じた取り組み

三井住友銀行国際協力財団は、開発途上地域の経済発展に資する人材の育成および国際交流を目的に、アジアから日本の大学院へ進学した留学生、毎年7～8名を対象に奨学金を支給しています。また、開発途上国の経済発展に資する活動を行っている研究機関・研究者への助成を行っています。米国を本拠とするSMBC GLOBAL FOUNDATIONは、平成6年よりアジア各国で学ぶ大学生6,000名超に奨学金を支給しています。またニューヨーク市ハーレムの高校が主催する日本研修旅行の支援、学校の美化活動への三井住友銀行従業員によるボランティア参加、同従業員が行う寄付に対して、財団からも同額の寄付等を実施しています。

環境活動

● 環境保全活動への参加

当社では「SMFGクリーンアップデー」として、グループ各社の有志従業員とその家族約1,100名が、多摩川(東京)、淀川(大阪)、須磨海岸(兵庫)、藤前干潟(名古屋)の4会場で清掃活動を行いました。関西アーバン銀行では滋賀県の「琵琶湖岸」の清掃活動、日本総合研究所では大阪マラソン開催時に行われた「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に参加しました。SMBC日興証券では、平成22年秋以降、環境保全・社会貢献活動強化期間として「Green Week」を設置し、平成26年度は清掃活動やペットボトルキャップ等の収集活動に社員と家族延べ5,265名が参加しました。セディナ・三井住友ファイナンス&リース・SMBCコンシューマーファイナンスでも事業所周辺などで継続的な清掃活動等を行っています。

● SMBC環境プログラムC・C・C富良野自然塾

三井住友銀行は、脚本家の倉本聰氏が北海道の富良野で取り組まれている、閉鎖されたゴルフ場跡地の森を元の姿に回復させる活動や、五感で自然を体感する環境教育プログラムを支援しています。

● 「環境フォト・コンテスト」への協賛

三井住友ファイナンス&リースは、環境問題の大切さを伝え行動を喚起することを目的とした「環境フォト・コンテスト」に協賛し、「三井住友ファイナンス&リース賞」を贈呈しています。

● こどもエコクラブ全国フェスティバルへの協賛

三井住友銀行は、公益財団法人日本環境協会が主催する「こどもエコクラブ全国フェスティバル2015」に協賛し、ブースを出展しました。

● 環境学習への取り組み

関西アーバン銀行は、滋賀県の琵琶湖で小学生を対象とした「夏休み!びわ湖体感学習」を開催し、子どもたちが体験を通じて自ら環境意識を育む活動に取り組んでいます。



少子・高齢化に向けた取り組み

● 支店におけるユニバーサルデザイン・ユニバーサルサービスの導入

当社グループでは、さまざまなお客さまのご来店に対応するため、以下のような取り組みを行っています。

- ・視覚障がい者対応ATMの設置(※1)
- ・筆談ボード、コミュニケーションボード、耳マーク、杖ホルダーの設置
- ・助聴器の設置
- ・自動体外式除細動器(AED)の設置(※2)
- ・ソファ用書記テーブルの設置(みなと銀行は着席型記帳台を一部店舗に設置)
- ・高齢者や身体の不自由な方向への優先座席の設置(みなと銀行、関西アーバン銀行)

(※1)国内支店および店舗外のATM全台で対応しています。

(※2)自動体外式除細動器(AED)は、SMBC日興証券・SMBCフレンド証券でも設置しています。

その他、みなと銀行では、カラーユニバーサルデザイン(CUD)の「受付番号表示機」、点字ブロックも設置しています。

● 超高齢化社会を見据えたビジネス展開に向けて

三井住友銀行では、今後増加が見込まれる高齢者専用賃貸住宅の普及を支援するため、担保管理等の取り扱い要領の明確化を行い、平成25年5月には有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を融資対象不動産とする専用ローン(介護施設提携ローン)の取り扱いを開始しました。

また、当社グループでは、ご高齢の方などへのサポートを強化するため、平成26年度より認知症サポーター育成を中心に対応を本格化しており、平成27年3月末現在、グループ全体で約5,600名の認知症サポーターおよび約1,800名のサービス・ケア・アテンダントが営業拠点を中心に在籍しています。

今後も社会のニーズに合わせ、高齢者が安心していきいきと生活できる店舗づくりを行ってまいります。

教育・文化・芸術

●チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」開催

三井住友銀行では、平成18年度より毎年、有志従業員演奏によるチャリティーコンサートを開催し、お客さまを無料でご招待しています。10年目を迎えた平成27年度も、会場での募金受付や従業員の手づくり品のチャリティー販売などを通じて、東日本大震災被災地およびカンボジア・ベトナムの子どもたちの支援を行いました。

●営業店でのロビーコンサートの実施

三井住友銀行の本店・大阪本店や、関西アーバン銀行の本店・びわこ本部では、一般の方に無料で鑑賞いただけるロビーコンサートを実施しています。

●文化芸術事業の支援

三井住友銀行・SMBC日興証券では、クラシックコンサートへの協賛を通じて、音楽文化の振興を支援しています。

SMBCフレンド証券では、山種美術館の特別展への協賛や大阪・名古屋フィルハーモニーへの協賛を通じて、文化・芸術活動を支援しています。

三井住友カードでは、国立劇場・国立演芸場への綴帳寄贈や子ども歌舞伎への公演協賛を通じ、古典芸能振興と人材育成を支援しています。

みなと銀行では、平成26年8月、「みなと銀行発足15周年記念イベント グラスアートを作ろう」と題した、小中学生を対象としたワークショップを『神戸市立博物館』にて開催し、親子計30組をご招待しました。

三井住友銀行・みなと銀行・関西アーバン銀行は、「こころの劇場(劇団四季、一般財団法人舞台芸術センター主催)」公演の協賛を通じて、情操教育を支援しています(「こころの劇場」とは、日本全国の子どもたちを劇場に無料で招待し、演劇の感動を届けるプロジェクト)。

海外拠点における取り組み

当社グループでは海外拠点において、その国や地域の課題、文化に即した取り組みを展開するほか、三井住友銀行ボランティア基金でもNPO・NGOへの寄付を通じて、開発途上国の貧困問題解決、教育や医療支援、女性の地位向上などにつながるプロジェクトを支援しています。

- ・三井住友銀行(中国)有限公司における、浙江大學、中山大學、蘇州大學、華東師範大學、上海外國語大學、天津外國語大學での奨学金制度
- ・三井住友銀行(中国)有限公司における、上海雲南省における地震被害に対する上海市紅十字會への義援金の寄付
- ・三井住友銀行香港支店における、アジアの若手音楽家によるオーケストラへの寄付
- ・三井住友銀行ソウル支店における、「全国學生日本語演劇大會」への寄付を通じた、韓国の學生が日本語を習得し日本文化への理解を深める場の提供
- ・三井住友銀行ハノイ支店における、インターナショナルスクールの學生への就労体験機会の提供
- ・三井住友銀行シドニー支店における、拠点内CSR委員会を中心とした、子ども、難病、難民、震災等にかかわるボランティア活動並びに寄付活動への参加
- ・マニファクチャラーズ銀行における、心臓病予防啓蒙イベントへの参加および有志従業員による主催団体への寄付
- ・ブラジル三井住友銀行における、ブラジル日本移民史料館の館内設備改善を目的とする協賛金の拠出
- ・欧州三井住友銀行における、ボランティア休暇を利用した社員の活動、行内寄付基金によるチャリティー団体への寄付、また、同基金のマッチングギフト制度(従業員の寄付に対して銀行が一定額を拠出する制度)を利用したチャリティー団体への寄付
- ・欧州三井住友銀行における、ワークエクスペリエンスプログラム(學生への就労体験プログラム)の実施を通じた、學生や恵まれない環境下に置かれた若者等への就労体験およびビジネススキル習得の機会提供
- ・欧州三井住友銀行における、ロンドン日本人學校での「進路出前授業(銀行業務紹介)」を通じた、日本人學生が銀行の社会的役割等について理解を深める機会の提供
- ・三井住友銀行台北支店における、高雄市大規模ガス爆発事故被害者に対する高雄日本人會を通じた義援金拠出
- ・ニューデリー支店における、郊外部市区域での教育プログラム支援に向けたCSRパートナーとの協働

●金融経済教育への取り組み

三井住友銀行では、小学生向けの職業体験イベントとして、「夏休み!こども銀行たんけん隊」に加え、各支店で随時小学生から高校生まで職場見学の受け入れを行っています。また、小学生向け書籍「銀行のひみつ」の発刊、お仕事体験タウン「キッズニア」への協賛、中学生向けの経済教育プログラム「ファイナンスパーク」への協力など、幅広く金融経済教育活動に取り組んでいます。

SMBC日興証券では、日興「家族でワクワク体験DAY」を夏休み期間中に開催し、平成26年度は小学生とその家族合わせて1,685名に参加いただきました。

SMBCコンシューマーファイナンスでは、お客様サービスプラザが中心となり、小学生を対象にお金の成り立ちや役割について学ぶ「カードゲーム」や、学生・社会人を対象とした金融経済教育セミナーを実施しており、平成26年度は、合計2,893回開催し、156,615名の方に参加いただきました。

関西アーバン銀行では、小学生を対象とした「銀行見学会」を夏休みに開催しており、中学生を対象とした「職場体験学習」の受け入れも実施しています。

この他に、三井住友銀行・三井住友ファイナンス&リース・SMBC日興証券・三井住友カード・日本総合研究所・みなと銀行・関西アーバン銀行では、大学への講師派遣等を行っています。